2．兆候はあったが減損の認識を行わない固定資産

⑴　兆候はあったが減損の認識を行わない固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用途	種類	場所	帳簿価額
医療用工具器具備品	医療用工具器具備品	秋田県秋田市	25千円

⑵　兆候はあったが減損の認識を行わない経緯及び理由

現在乾式レントゲンを使用することが多いため、平成16年当時の使用状況と比較すると使用率が10%程度になっております。

今後も、湿式から乾式への機種更新を進める予定でおりますが、しかしながら、一部診療科では湿式を使用しており、また、使用目的に従った機能を有していると認められるため、減損の認識を行わないこととしております。

5．重要な債務負担行為

当事業年度に契約を締結し，翌期以降に支払が発生する重要なものは以下のとおりです。

（単位：千円）

契約内容	主な契約先	翌期以降支払金額
		一年以内
二光子励起レーザー顕微鏡一式	株式会社アオバサイエンス秋田営業所	70,686
秋田大学（医病）病棟新営その他機械設備（衛生）工事（設計変更分）	大成温調株式会社東北支店	10,442
合計		81,128

6．債務保証

年度末時点における独立行政法人国立大学財務・経営センターが承継した財政融資資金への債務保証金額の総額　6,395,631千円

7．重要な後発事象

該当事項はありません。

⑴　固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）及び減損損失の明細

〔単位：千円〕

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	12,215,926	998,438	55,034	13,159,330	3,177,604	483,418	441	—	—	9,981,284	注
	構築物	1,184,903	42,621	189	1,227,335	717,718	60,470	—	—	—	509,616	注
	機械装置	6,438	—	—	6,438	3,838	391	—	—	—	2,600	
	工具器具備品	393,537	46,022	64,417	375,142	308,147	23,127	—	—	—	66,994	注
	図書	28	—	—	28	—	—	—	—	—	28	
	船舶	1,673	—	—	1,673	1,672	—	—	—	—	0	
	航空機	2,140	—	—	2,140	2,139	—	—	—	—	0	
	計	13,804,648	1,087,082	119,641	14,772,088	4,211,122	567,408	441	—	—	10,560,524	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	3,363,897	387,093	13,042	3,737,948	1,552,702	266,165	—	—	—	2,185,246	注
	構築物	324,979	64,481	—	389,461	109,652	21,476	—	—	—	279,808	注
	機械装置	62,510	5,271	4,755	63,025	33,508	7,896	—	—	—	29,517	
	工具器具備品	5,370,068	1,821,688	50,443	7,141,313	3,647,680	877,276	8,715	—	8,715	3,484,917	注
	図書	1,652,201	32,761	33,196	1,651,766	—	—	—	—	—	1,651,766	
	車両運搬具	12,519	5,136	—	17,656	12,474	1,509	—	—	—	5,181	
	計	10,786,177	2,316,433	101,438	13,001,171	5,356,018	117,432	8,715	—	8,715	7,636,437	